

19 木建第 48 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 殿



木祖村長 栗屋 徳



今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
 - ・ 防災対策により安全、安心を優先する。
 - 雨量規制区間の解消
 - なだれの防止
 - 橋梁の耐震補強（村道の耐震補強に関する事業の拡充）
 - ・ 高速道路料金の軽減
 - 交通の分散化
 - ・ 交通安全を確保する。
 - 交差点の改良
 - 横断歩道橋の設置
 - ・ 街並みの保存
 - 電線等の地中化による、きれいな街並みづくり
2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
 - ・ すべての道路について、道路特定財源を充て、短期間で整備効果をあげる。
 - ・ 地方道路整備臨時交付金の手続きの簡素化
3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見
 - ・ 道路環境美化の推進
 - ゴミ対策について、運転者のマナーの向上を図る啓発活動の推進
 - 維持管理の充実によりきれいな道路を
 - ・ 地域と連携した緑の道づくり
 - 日本風景街道の推進
 - ・ バイパス（代替道路）の整備により、通行止め等に対応し交通の確保を行う。
 - ・ 渋滞解消のための登坂車線の整備
 - ・ 人に優しい道路空間の整備
 - 歩道の整備

交差点の改良

・右折レーンの設置

149k000m 吉田交差点

バス路線であるが見通しが悪く、右折をするのに危険を感じながら運行している。追突等事故が発生すれば多くの方が犠牲となる。

151k100m 藪原交差点

木祖村の南の玄関口としてなくてはならない交差点である。

改良は長年の懸案事項であります。大型車の通行、県道との鋭角な交差は物理的に交通に無理があり苦慮しているところであります。

雨量規制区間（149k100mから151k100m）の改良と併せ早急に改良をお願いしたい。

雨量規制区間の改良

・149k100mから151k100m

洞門工事、バイパス工事により区間の短縮、なだれ防止、雨量規制の勘案がなされました。しかしながらこの区間は急峻で危険な場所を通っております。早急に回避ができるよう望みます。

大型車両の分散化

・国道361号、権兵衛トンネルの開通がなされ多少の変化はしてきているがまだまだ、大型車両が多いと思われる。通称「木曾高速」と呼ばれるほど高速で走行し、特に夜間は地元車両も恐怖を感じる程である。大型車の分散化のため方策をお願いしたい。

事故等による国道の通行止め

・一旦、大きな事故が起きれば長時間に及ぶ通行止めが発生しているのが現状であります。長野県が進める右岸道路整備に併せ、代替道路の整備をお願いしたい。

県道、村道の改良の促進

・地方道において整備率が上がっていないのが現状であります。補助事業の採択を優先的にお願いしたい。